

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	どんぐりの家		公表日		2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	3	活動や休息に合わせて、ジョイントマットを使用するなど、スペース確保ができるよう工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23		常に子どもたちの表情が確認できる環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	23		日々の清掃の他、感染防止の徹底を目的として、標準予防策に準じた対応を実施しています。また、排痰の有無に応じた環境面への配慮を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	1	体調に応じた場所の確保や、個室を使用できる環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	23		管理者を中心に目標と支援の方向性について職員に周知し、必要に応じてカンファレンスの時間を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23		事業所評価にご協力いただき、保護者様からの意見をいただいています。ご指摘があれば管理者間で協議を行い、改善点を整理し、改善内容を職員に周知し、業務に反映しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23		それぞれの職種間や他職種間でも、個々の意見を尊重し、その都度話ができる環境にあります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	23		本人の希望に応じて外部受講の支援があるほか、施設名でも勉強会を開催し、支援向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23		ホームページ上に公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	23		体調の変化や成長に応じて適切な支援ができるよう、ご家族や相談支援員等からの情報をもとに、ニーズや課題を分析し、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23		保護者様のニーズを丁寧に把握したうえで、保育士等の専門職から得られた意見をもとに成長課題を整理し、計画に反映しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23		計画はいつでも閲覧できる環境にあり、適切に活用されています。日々の活動を通して、計画に基づいた実践からの気づきの共有ができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	23		フォーマルなアセスメントをベースに、その日の体調に合わせた支援を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	23		児童発達ガイドラインに基づき、本人支援の5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）の他、ライフステージに応じて、「家族支援」「移行支援」「地域支援」を連動させた取り組みを行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23		保育士ら療育の専門職員で3つの活動チームを作り、チームごとの活動目的をもとにした活動プログラムが立てられます。一か月毎にチーム内で活動評価を行い、より良い支援を目指しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	22	1	体調やニーズに応じて、集団活動と個別活動（ケア・リハビリ等）を柔軟に組み合わせ、体調管理を重視した支援を行なっています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23		毎朝全職員でミーティングを行います。共有したい情報の提供や、担当の保育士チームから活動についての申し送りを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	1	毎日活動報告書を記録しています。支援については、内容や個々の様子などを連絡帳に記載し、保護者様とも共有しています。（控えを事業所に保存）支援の気づきについては、その場で向き合い、検証・改善案を見出します。必要に応じて計画修正を行い、その旨を職員間で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	23			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	22	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	23			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23		情報提供書や電話にて情報共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	23		主にメールを活用し、日常的な情報確認を行っています。予定変更の際は、保護者様と確認を行い連携を図っています。また、お迎え時は学校の様子について申し送りを受け、その内容を踏まえて必要なケアや支援を検討します。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	23		通っている園や他事業所への訪問や書面にて情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	23		卒業後を見通した実習の受け入れを行い、当事業所での支援内容の情報を提供しています。また、卒業前には学校主催の移行支援会議に参加し、関係各所と情報を共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	19	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	16	7		イベントや近所のお祭りなどで交流する機会があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	23	3		毎回代表が出席し、必要な情報を共有しています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	23			保護者の方との日常的な情報共有を大切にし、送迎時の対面でのやり取りや連絡帳を通して、体調やその日の様子についてこまめに共有しています。また支援中の具体的な様子や子どもたちの反応をお伝えすることで、発達状況や課題について共通理解を深めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20	3		お祭り等のイベントを開催し、ご家族皆さんで参加していただける機会を設けています。また、行政や地域支援者、組織等からの研修情報も利用者様へのチラシや電子配信を行い、広く周知しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23			ご利用契約時に、運営規定及び利用者負担について丁寧に説明を行っています。また、支援プログラムとあわせて個別支援計画の内容をお伝えし、支援の目的や方針について利用者・ご家族と共有するよう努めています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23			保護者様と面談し、お子様やご家族の意向・ニーズを丁寧に確認したうえで計画を立案しています。確認したニーズに基づき、子どもの最善の利益を優先して適切な支援内容を検討し、子どもの成長や発達を促す支援を行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	22	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23			必要に応じ適切に応じ、面談や助言を行っています。支援として取り入れる必要がある場合は、個別支援に追加し、継続的に対応します。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	23		母の会の活動を支援するために、チラシ配布への協力を行っています。また、夏祭りなどの行事では、兄弟児を含めたご家族での参加を呼びかけ、保護者同士や兄弟児同士が交流できる機会を設けています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	1	相談や申し入れに迅速かつ適切に対応するために、相談・苦情窓口を設置し、担当者を明確に決めています。相談内容や申し入れについては職員間で速やかに共有し、必要に応じて改善策を検討・実施する体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	23		定期的に通信の発行や、HP上に活動報告をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23		個人情報を含む書類は、施錠可能なロッカーにて適切に保管しています。外部研修者に対しては、守秘義務の徹底を図っています。写真の撮影および取り扱いについては、利用目的を明確にし、本人の同意を得たうえで慎重に管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23		わかりやすい言葉や視覚的な働きかけによる伝達手段の工夫を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20	3	近くの公園にお散歩に出かけながら、元気に挨拶をしています。夏祭りでは、地域の方にお声掛けさせていただいたり、近隣の事業所と合同でイベントを開催し、交流しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23		各種委員会で行った勉強会や訓練については、通信にて保護者様に報告しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	23		マニュアルの理解・共有を図り、災害時の行動理解を図ることを目的として、1回/年、災害を想定した訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	23		事前に保護者様からの情報と、主治医の指示書にて確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23		安全委員会を中心に安全計画を策定し、年1回全職員を対象とした研修を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23		ヒヤリハット事案が発生した際は、速やかに報告書を提出し、全職員で情報を共有しています。事案内容を検討し、適切な対応策を講じ、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23		虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置しています。年1回全職員対象とした研修を行い、意識啓発を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	23				